

連携

第80号

栗原市立栗原中央病院
広報誌 令和3年11月発行
編集 地域医療連携室

病院の理念

わたしたちは、患者さまを第一に考え、いのちを大切にす最善の医療を行い、地域に貢献します

基本方針

わたしたちは、患者さまのことを考え、いのちを大切にします

1. 市民から信頼される、安全な医療を行います
2. 良質な医療を行うために、つねに新しい知識と技術を身につけるように努めます
3. 地域のニーズに合った医療を提供することで、地域に貢献できる病院をめざします
4. 地域の医療の中心として、ほかの医療機関との連携に努めます



呼吸器感染症の診療について

感染管理室長 呼吸器内科部長 宇佐美 修

当院では呼吸器感染症領域において、一般市中肺炎、医療介護関連肺炎を中心に診療しております。また、COVID-19 患者の受け入れを行なっておりますが原則的に軽症もしくは中等症Iまでを受け持っており、酸素投与が必要な重症例などは、高次医療機関に転送しています。市内で SARS-CoV-2 抗原陽性、PCR 陽性例がでた場合は保健所並びに県の調整本部に連絡し対応についてご検討ください。

結核診療にも力を入れており、当院は県内唯一の結核病棟（感染制御センター）29 床を有しております。ご存知の通り、COVID-19 患者さんにより県内医療機関で陰圧病室が満床となる事態が発生しました。これまでは各病院でみられていた排菌陽性結核患者さんも受け入れることにしております。ただし、感染制御センターは塗抹陽性であることが一つの条件となっていることに御留意下さい。結核患者さんをご紹介される際には、厳密に排菌陽性の結核患者さんのみを受け入れるため、**1) 喀痰抗酸菌塗抹陽性であること**。塗抹陽性であることをもって排菌陽性とし、周囲への感染性があると見做され、

隔離対象となります。培養陽性であっても、塗抹陰性であれば隔離の必要条件是満たしません。胃液、BAL 塗抹陽性の場合も、必ずしも隔離の対象とはなりませんので、迷った場合には保健所ならびに当院へ地域連携室を通じて御連絡ください。**2) 検体結核菌遺伝子検査陽性であること**。喀痰抗酸菌塗抹陽性であっても非結核性の場合、隔離は不要です。遺伝子検査の結果が得られるまでお待ちください。**3) 隔離解除後の退院先が確保されていること**。結核ということで有効な治療が2週間以上行われ、塗抹3回陰性で退院可能となります。概ね2-3ヶ月で多くの症例は塗抹陰性化します。一方で、結核の治療は最短でも6ヶ月かかります。従いまして、退院後、外来で結核の投薬継続を続けることとなります。この時、施設などでは退院後の受け入れが困難となることがあります。こちらあらかじめご連絡ください。

感染症対策としては、感染管理地域連携として、他施設との連携を定期的に行なっております。今後も皆様方と連携をとることで、市の感染管理に寄与したく思います。

緩和ケアチーム部会 研修会

当院の緩和ケアチームは、医師・看護師・薬剤師・栄養士・作業療法士・ソーシャルワーカーの多職種で結成されています。月1回緩和ケア部会を開催し、対象患者さんのカンファレンスやメンバー自ら講義者となり勉強会を行っています。これまで、グループワークで緩和ケア患者さんの事例を使ったアセスメント、緩和ケア認定看護師による「トータルペイン



ンについて」の講義、作業療法士による「緩和ケア患者におけるリハビリテーション」の講義を部会内で行いました。普段なかなか知ることのできない多職種が行っている患者さんへの関わりを知るきっかけになっていることや各専門分野の学びが増える事によって多職種チームの良さがあると感じています。今後は、薬剤師による「緩和ケアで使用される薬剤について」の講義と栄養士による「緩和ケアにおける



加藤作業療法士

る栄養管理について」の講義を予定しています。我々緩和ケアチームは患者さんとその家族さんが今後どのように過ごしたいか、いかに苦痛なく過ごすことができるのかを共に考え、支えることを大切にしています。

何か小さなことでも構いませんので、お手伝いできることがございましたらお気軽にご相談ください。

緩和ケア認定看護師 及川 美里



— 地域医療連携室 紹介 —

令和3年4月より、地域医療連携室に異動となりました曾根と申します。地域の医療機関の関係者の皆様には、平素より大変お世話になっております。

当院の地域医療連携室は、前方連携2名、後方連携7名で業務に当たっております。前方支援の取り組みとして、地域の医療機関からの紹介や検査等の依頼をスムーズに予約し、患者様や依頼していただいた先生方のお役に立てるように、迅速にきめ細かく対応させていただいております。また、後方支援としては、入院された患者様が退院後の生活が良い方向に進められ、安心して生活できるように患者様や家族様と入院早期からご希望を伺いながらスムーズに退院できるよう日々尽力しております。

昨年は新型コロナウイルスの影響もあり、「連携のつどい“よらいん”」や「がんサロン」など研修会が開催できない状況でしたが、今後は感染対策を考慮しハイブリット方式等検討しながら徐々に始めて参りたいと考えております。

これからも市民の皆様が地域で安心して暮らしていけるよう地域医療の連携に努めて参りたいと思っております。今後ともご指導ご支援をよろしくお願い申し上げます。

地域医療連携室長 看護師長 曾根 勝恵

☆スタッフ紹介☆

【地域医療連携室顧問・副院長】木田 真美

【地域医療連携室長・看護師長】曾根 勝恵

【看護師】佐藤 眞智子

【MSW】曾根 朋子 佐藤 祐介 遠藤 志麻 佐々木 アス香

【事務補助】手嶋 ひとみ 高橋 比呂美 小野 由美



新規採用医師紹介 令和3年10月1日付 採用



内科医員
ひだ ゆきひろ
飛田 将宏



外科医員
たかはし こすえ
高橋 梢

よろしくお願い致します



【学会・研修会・論文発表】

☆ Foot and Ankle Surgery 27(2021)784-788

History of ankle sprain affect the star excursion balance test among youth football players
Hideaki Nagamoto¹, Haruki Yaguchi², Hiroyuki Takahashi³

1. Department of Orthopaedic Surgery, Kurihara Central Hospital, Japan

2. Department of Physical Medicine and Rehabilitation, Tohoku University School of Medicine, Japan

3. Department of Orthopaedic Surgery, Kesen-numa City Hospital, Japan

☆ 日足外会誌 (J. Jpn. Soc. Surg. Foot) 42 (1): 275-278, 2021

慢性脚関節不安定症とアキレス腱附着部石灰化症の合併例に対して一期的手術を施行した1例

永元 英明¹⁻³・木村 礼³・畠 英里⁴

¹早稲田大学大学院スポーツ科学研究科、²東北大学整形外科、³栗原中央病院整形外科、

⁴栗原中央病院リハビリテーション科

☆ 日足外会誌 (J. Jpn. Soc. Surg. Foot) 42 (1): 228-231, 2021

腓骨筋腱脱臼と前距腓靭帯損傷に対して一期的手術を施行した1例

木村 礼・永元 英明

栗原中央病院整形外科

☆ 日本臨床スポーツ医学会誌 VOL.29No.3, 2021

10歳男児の第5腰椎分離すべり症に対して体幹機能訓練により競技復帰した一例

阿部 允哉¹、永元 英明³、畠 英里²、小梨 優²

¹東北大学病院リハビリテーション科 ²栗原市立栗原中央病院リハビリテーション科

³栗原市立栗原中央病院整形外科

☆ 第69回日本心臓病学会学術集会 2021.9.19 米子ｺﾝﾊﾞﾝｼﾞｮﾝｸﾞ- BIG SHIP ほか (WEB)

血清コリンエステラーゼ値は高齢者の心不全入院患者の予後を予測するか

栗原中央病院 循環器内科

尾形 剛、阿部 翔太郎、深澤 恭之朗、矢作 浩一、平本 哲也

☆ 第113回日本呼吸器学会東北地方会・第143回日本結核・非結核性抗菌症学会東北支部学会
2021.9.4 WEB

学生の結核病棟での診療科臨床実習におけるN95マスクのフィットテスト

栗原市立栗原中央病院 内科・感染制御センター¹、東北医科薬科大学病院 感染症内科²、

栗原市立栗原中央病院看護部・感染制御センター³、同 内科・呼吸器内科⁴

○平潟 洋一¹、関 雅文²、猪股 寛子³、新沼 由香³、須藤 裕子³、寺嶋 勉³、千葉 一枝³、宇佐美 修⁴

ペンラリズムが有効であった好酸球性副鼻腔炎合併の難治性喘息の一例

栗原中央病院 呼吸器内科 宇佐美 修

☆ 第172回日本循環器学会東北地方会 (WEB)

サクビトリルバルサルタン投与中止例の検討

栗原市立栗原中央病院

○阿部 翔太郎、矢作 浩一、深澤 恭之朗、尾形 剛、平本 哲也

☆ 第52回日本看護学会学術集会 (WEB) 2021.9.28~29、11.18~19 ポスター発表

高齢者施設での看取りにおける看護職の役割と期待—高齢者施設職員のアナウンス結果から—

栗原市在宅医療・介護連携支援センター 所長 千葉 由美子

☆ 第59回全国自治体病院学会in奈良 2021.11.4~5 奈良県ｺﾝﾊﾞﾝｼﾞｮﾝｸﾞ-、なら100年会館

子育て街ぐるみ応援隊 一隊長は小児科医—

栗原市在宅医療・介護連携支援センター 千葉 由美子

診療状況報告（上半期）

◎救急医療状況（ ）内及び時間内患者数は救急車搬入数

（単位：人）

区分	外来		入院		時間外計	時間内計	救急車搬入計
	時間外	時間内	時間外	時間内			
4月	283 (60)	27	118 (74)	41	401 (134)	68	202
5月	365 (64)	22	112 (72)	35	477 (136)	57	193
6月	290 (77)	28	81 (55)	33	371 (132)	61	193
7月	418 (89)	30	110 (58)	42	528 (147)	72	219
8月	384 (76)	24	95 (45)	45	479 (121)	69	190
9月	293 (72)	20	94 (50)	43	387 (122)	63	185
合計	295 (71)	30	83 (50)	41	378 (121)	71	192

◎内視鏡検査等状況

（単位：人）

区分	上部消化管						上部合計	下部消化管						下部合計	ERCP 関連	合計
	【診断】 上部 内視鏡	【治療】 上部 内視鏡	止血 術	粘膜 剥離 術	粘膜 切除 術	胃 腸 造 設 術 食 道 狭 張 術 異 物 除 去 他		【診断】 下部 内視鏡	【治療】 下部 内視鏡	大 腸 粘 膜 切 除 術 (EMR)	大 腸 粘 膜 下 層 剥 離 術 (SD)	大 腸 ス テ ン ト 留 置 術 他	止 血 術			
4月	182	14	10	3	1	196	60	20	9	2	9	80	15	291		
5月	181	19	13	4	2	200	52	23	8	3	12	75	17	292		
6月	223	24	16	5	3	247	106	14	6	1	7	120	15	382		
7月	280	13	10	3	0	293	109	13	6	0	7	122	18	433		
8月	200	13	9	3	1	213	110	26	10	4	12	136	10	359		
9月	227	21	17	2	2	248	160	27	13	6	8	187	17	452		
合計	1293	104	75	20	9	1397	597	123	52	16	55	720	92	2209		

◎手術実施状況

（単位：人）

区分	全身麻酔					腰椎麻酔					局所麻酔						合計		
	外	泌	皮	整	計	外	泌	皮	整	計	外	泌	眼	皮	内	整		計	
4月	15			13	28				14	14							3	15	57
5月	6			13	19				6	6							2	18	43
6月	15			12	27				7	7	2		16				2	20	54
7月	19			11	30	1			8	9	2		15					17	56
8月	14			13	27				7	7	4		10				2	16	50
9月	17			12	29	2			6	8	1		11				3	15	52
合計	99	0	0	86	185	3	0	0	54	57	11	0	90	0	0	14	115	357	

◎心臓カテーテル等実施状況

（単位：人）

区分	心臓カテーテル検査			冠動脈カテーテル手術 (心臓カテ再掲)			ペー ス メー カ 移 植 術	ペー ス メー カ 交 換 術	下 肢 動 脈 カ テ ー テル 手 術	補 助 循 環 装 置 (IABP, PCPS)	ア プ レ ー シ ョ ン	合計
	予定	緊急	計	予定	緊急	計						
4月	20	4	24	7	3	10	6	5	1	2	9	45
5月	22	9	31	5	7	12	3	4	2	4	7	47
6月	28	3	31	7	1	8	3	1	0	0	10	45
7月	16	5	21	4	3	7	3	3	1	1	7	35
8月	18	5	23	3	6	9	5	2	3	1	8	41
9月	17	6	23	2	6	8	2	0	4	3	5	34
合計	121	32	153	28	26	54	22	15	11	11	46	247

編集後記

秋も深まり、新米が美味しい季節ですね。今年はコロナ感染の影響で「〇〇の秋」を堪能できない事が多かったと思います。来年こそはみんなでBBQや芋煮会ができるように日々の感染対策を徹底していきましょう



栗原市立栗原中央病院

〒987-2205 宮城県栗原市築館宮野中央三丁目1番地
 (代表) TEL: 0228-21-5330 FAX: 0228-21-5350
 地域医療連携室
 (直通) TEL: 0228-21-5335 FAX: 0228-21-5336
<http://www.kurihara-central-hp.jp/>